

# RCIJ シラバス

---

- Syllabus 2024 -



## 認定 RC アドバイザー

## 「認定 RC アドバイザー」 講義の詳細

講座名	危機対応訓練の実践
講師名	尾上 玲円奈
講師経歴 自己紹介	株式会社マテリアル取締役／早稲田大学非常勤講師（PR 概論、PR 特論） 大学卒業後、NHK に記者として入局し、ニュース原稿の作成や特集の制作、レポートなどを担当。警察・検察、政治・行政の取材に加え、隠岐島の産科医不足をスクープし、国会での「勤務医不足」論議を巻き起こした。その後、井之上パブリックリレーションズで執行役員を務め、幅広い業界のクライアントに対応。マテリアル移籍後も、ジャーナリストや国会議員秘書の経験を活かし、PR 戦略立案、危機管理、ロビイングなどに従事。
科目のねらい・到達 目標	クライシス（リスク）コミュニケーションにおいて、有事の際の具体的な危機対応ができるように、訓練の実務を習得する。
講座概要	1.はじめに 2.危機管理と危機対応訓練の重要性 3.危機対応訓練の種類と実施方法 4.危機管理マニュアルの整備と運用 5.危機管理のアドバイザーとして
その他	井之上喬（2015）『パブリック・リレーションズ（第2版）』日本評論社

## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	リスクコミュニケーション実務 前編
講師名	白井 邦芳
講師経歴 自己紹介	一般社団法人日本リスクコミュニケーション協会理事、一般財団法人リスクマネジメント協会顧問、ゼウス・コンサルティング株式会社代表取締役社長、広報学会会員、GBL 研究所会員、経営戦略研究所講師。これまでに対応したリスクマネジメント及び危機管理案件は上場企業を中心に 3,200 事例に及ぶ。社会構想大学院大学教授（2017 年～2023 年、専門：リスクマネジメント及びリスクコミュニケーション）を経て現在に至る。
科目のねらい・到達 目標	昨今の企業の不祥事の多くが、経営層が関与する組織的な不祥事であり、複数年にわたり繰り返し不正が行われていたことが公表されている。記者会見等の在り方やステークホルダーへの対処に失敗し、メディア対応に偏重するあまり重大なステークホルダーを置き去りにして、危機管理対応に行き詰まる事例を多く見てきた。本講では、多種多様なステークホルダーへの対処における優先順位や取捨選択の方法と、最も難しいと言われる刑事事件への対処について学習する。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステークホルダーマネジメント</li> <li>・ 刑事事件対応</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不正・不祥事対応における再発防止策 近年の調査報告書にみる施策の類型化（商事法務）</li> <li>・ リスクマネジメントの教科書（白井邦芳 著、東洋経済新報社）</li> </ul>

## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	SNS 応用と実践
講師名	山口真一
講師経歴 自己紹介	<p>国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授 博士（経済学・慶應義塾大学）。専門は計量経済学、社会情報学、情報経済論。 NHK や日本経済新聞をはじめとして、メディアにも多数出演・掲載。KDDI Foundation Award 貢献賞、組織学会高宮賞、情報通信学会論文賞（2 回）、電気通 信普及財団賞、紀伊國屋じんぶん大賞を受賞。主な著作に『ソーシャルメディア解 体全書』（勁草書房）、『正義を振りかざす「極端な人」の正体』（光文社）、 『なぜ、それは儲かるのか』（草思社）、『炎上とクチコミの経済学』（朝日新聞 出版）などがある。他に、早稲田大学ビジネススクール兼任講師、シエンプレ株式 会社顧問、株式会社エコノミクスデザインシニアエコノミスト、日経新聞 Think!エ キスパート、日本リスクコミュニケーション協会理事、日本テレビ放送番組審議会 委員などを務める。また、内閣府「AI 戦略会議」を始めとし、総務省、厚生労働 省、公正取引委員会などの様々な政府有識者会議委員や座長を務める。</p>
科目のねらい・到達 目標	<p>海外での広報やフェイク情報まで含めた SNS 上のリスク全般についてその詳細を理 解したうえで、リスクを予防するための組織づくりとガイドライン作成方法を理解 する。また、それらを適切にアドバイスできるようにする。</p>
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS リスクのメカニズム ①炎上 ②フェイク情報 ③生成 AI ④海外広報</li> <li>・ リスクの予防</li> <li>・ SNS 運用ガイドラインの制作手順</li> <li>・ SNS 運用ガイドラインの具体</li> </ul>
その他	<p>以下は参考図書一覧です。 ※読むことが必須というわけではなく、講座の内容を さらに深堀りしたい人向けの参考書という扱いです。</p> <p>山口真一（2022）『ソーシャルメディア解体全書: フェイクニュース・ネット炎 上・情報の偏り』、勁草書房</p> <p>山口真一（2020）『正義を振りかざす「極端な人」の正体』、光文社</p> <p>山口真一（2020）『なぜ、それは儲かるのか: 〈フリー+ソーシャル+価格差別〉× 〈データ〉が最強な理由』、草思社</p> <p>山口真一（2018）『炎上とクチコミの経済学』、朝日新聞出版</p>

## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	非財務情報とリスクコミュニケーションによる株価向上
講師名	宮下 修
講師経歴 自己紹介	ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社 代表取締役 / CFA 協会認定アナリスト メリルリンチ証券にて M&A や株式引受、IR コンサルティング業務に従事し、2005 年にジェイ・フェニックス・リサーチに取締役パートナーとして参画し、2009 年に代表取締役に就任。2013 年に UT グループにて事業開発部門長兼上席執行役員を務める。2019 年にはスカラ株式会社（4845）との事業統合を経て、スカラの最高戦略責任者に就任。2023 年に完全独立。非財務情報の重要性や企業価値向上に関する分析を専門とし、上場企業を対象とした株価向上のためのコンサルティングを提供している。
科目のねらい・到達 目標	企業価値を高めるための非財務情報とリスクコミュニケーションの基本的な知識と実践方法を習得する。特に、ESG 投資とリスクコミュニケーションの関連性を理解し、企業価値向上に向けた具体的な戦略を学ぶことを目指す。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非財務情報の定義と重要性</li> <li>・ 企業価値と株価向上のメカニズム</li> <li>・ ESG 投資と非財務情報の活用方法</li> <li>・ リスクコミュニケーションの基礎と実践</li> <li>・ ケーススタディ: 非財務情報による企業価値向上の成功事例</li> <li>・ 財務情報と非財務情報の連携と株価予測モデル</li> </ul>
その他	

## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	リスクコミュニケーション実務 後編
講師名	白井 邦芳
講師経歴 自己紹介	一般社団法人日本リスクコミュニケーション協会理事、一般財団法人リスクマネジメント協会顧問、ゼウス・コンサルティング株式会社代表取締役社長、広報学会会員、GBL 研究所会員、経営戦略研究所講師。これまでに対応したリスクマネジメント及び危機管理案件は上場企業を中心に 3,200 事例に及ぶ。社会構想大学院大学教授（2017 年～2023 年、専門：リスクマネジメント及びリスクコミュニケーション）を経て現在に至る。
科目のねらい・到達 目標	公表された最近 9 年間の上場企業の不祥事のうち、約 53% が意図的に行われた会計がらみの不正であることが公表されている。こうした実態を受け、本講では、不正の行われた背景を検証し、不正防止のためのチェックポイントを理解し、不正の早期発見を行うためのリスクコミュニケーターとしての知見と技術を向上させることにある。また、監督官庁、司法機関等より臨検を受け、任意の調査、強制捜査、家宅捜索を受けた場合の適切な対処方法を学ぶ。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不正防止を目的とした社内コミュニケーション</li> <li>・ 臨検対応とコミュニケーション</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不正・不祥事対応における再発防止策 近年の調査報告書にみる施策の類型化（商事法務）</li> </ul>

## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	地政学リスクとリスクコミュニケーション
講師名	池田 信太郎
講師経歴 自己紹介	<p>ジャーナリスト・地経学アナリスト</p> <p>実業之日本フォーラム 編集長 実業之日本総合研究所 取締役</p> <p>地政学・地経学領域のコンサルティング、シンクタンク、メディア事業を展開する実業之日本フォーラムを率いる。経済安全保障、半導体などのテクノロジーの動向、エネルギー戦略、暗号資産・Web3などの技術動向などの分野を扱う。2000年に日経 BP に入社。2006年から「日経ビジネス」記者、「日経ビジネス Digital」創刊編集長、香港支局特派員、「日経ビジネスオンライン」編集長、「日経ビジネス電子版」編集長などを歴任。2022年に実業之日本社に転じた。</p>
科目のねらい・到達 目標	<p>企業が向き合うべきリスクとして、近年、再浮上している「地政学リスク」について根本から学び、向き合い方を考える。また、リスクコミュニケーションの実践的な方法の1つとして「スピーチ」に着目し、スピーチライティングの要諦について学ぶ</p>
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地政学とは何か</li> <li>・なぜ今、地政学が必要とされるのか</li> <li>・トランプイズム、Brexit、ウクライナ戦争…世界をどう見るか</li> <li>・地政学リスクの特徴と向き合い方</li> <li>・スピーチライティングの要諦</li> </ul>
その他	

## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	IT リスクにおける BCP
講師名	勝俣 良介
講師経歴 自己紹介	<p>ニュートン・コンサルティング株式会社 取締役副社長 プリンシパル・コンサルタント</p> <p>日本で、セキュリティスペシャリストとして活躍後、2001 年に渡英し英国企業へ入社。欧州向けセキュリティソリューション部門を立ち上げ、部門長として新規事業を軌道に乗せた。</p> <p>2006 年、副島と共にニュートン・コンサルティングを立ち上げ、取締役副社長に就任。コンサルタントの教育、自社サービスの品質管理、新規ソリューション研究・開発を率いる。多くの本や記事を執筆するなど豊富な知識・経験を持ちながらも、伝統的な考え方にとらわれない実践性と柔軟性を駆使したコンサルティング手法には定評がある。幅広い業界/規模のお客様に支持されている。全社リスクマネジメント(ERM)、内部統制、BCP/危機管理、IT ガバナンス/セキュリティ管理など幅広いコンサルティングスキルを有する。</p>
科目のねらい・到達 目標	<p>IT-BCP におけるクライシスコミュニケーションにおいて社内外の関係者が使用する可能性のある IT-BCP に関わる専門用語や考え方を理解し、人に説明できるようになる</p> <p>IT-BCP におけるクライシスコミュニケーションの落とし穴やその回避の仕方について、知識として習得できる</p>
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCP とは</li> <li>・ IT-BCP とは</li> <li>・ 事例に学ぶ IT-BCP の特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 知っておきたいリアルな動き</li> <li>◦ 知っておきたい専門用語</li> <li>◦ 知っておきたいよくある落とし穴</li> </ul> </li> <li>・ IT-BCP の演習</li> </ul>
その他	特になし



## 「認定 RC アドバイザー」 各講義の詳細

講座名	リスクコミュニケーション実務／金融編
講師名	越田 稔
講師経歴 自己紹介	株式会社 KRIK 代表取締役 東京、ニューヨークで15年間、ロイター通信特派員として政治・金融をカバー。 PR 業界に転じてからは、金融コミュニケーション、イシューマネジメント業務を統括。国内では知られていない米大手ヘッジファンドの日本市場進出を演出、金融コミュニケーションの第一人者として委任状争奪戦を含む様々な金融案件に携わる。 言語：日・英
科目のねらい・到達 目標	コーポレートガバナンス改革、スチュワードシップコードをはじめ、政府や東京証券取引所などによる改革によって、日本の金融資本市場は活発化している。そのような環境下において、RC アドバイザリーを行う上での基本的な考え方と知識を習得する。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株主とのエンゲージメント</li> <li>・パブリック・キャンペーン</li> <li>・事業売却 カープアウト（スピニアウト）</li> <li>・株式取得（TOB）</li> <li>・株主総会/株主提案</li> </ul>
その他	なし